

里親制度

アジア



カンボジア

【対象】 タケオ州のワットアン中学校とその他の小学生から高校生までの孤児・片親・貧困家庭の児童・生徒

【支援期間・金額】 年間 18,000 円を支援。100 ドル分を里子へ支援し、残りは経費。(レートにより変動あり) 100 ドルは 3 回に分けて支給。

【開始年度】 1996 年

【里子数】 (2017) 139 (2018) 76 【里親数】 (2017) 119 (2018) 68



タイ

【対象】 メーホンソン県バンファイシン学校の中学 1～3 年生と同校を卒業した高校 1～3 年生

【支援期間・金額】 中学生は 1 年間 15,000 円 (事務費 3,000 円含) を 3 年間。寄宿舎代、制服代、文房具代、帰省交通費、散髪代などを支援。

高校生は 1 年間 27,000 円 (事務費 3,000 円含) を 3 年間。学費、交通費などを支援。

【開始年度】 (中学生) 2000 年 (高校生) 2018 年

【里子数】 (2017) 52 (2018) 61 【里親数】 (2017) 50 (2018) 55



ネパール

【対象】 学習意欲があるが経済的に困窮したエカタアカデミーの児童・生徒

【支援期間・金額】 1 年間 12,000 円を学費・教材費として支援

【開始年度】 2011 年 1 月

【里子数】 (2017) 80 (2018) 78

【里親数】 (2017) 80 (2018) 78



ミャンマー

【対象】 小中高生、大学生

【支援期間・金額】 年間 15,000 円 (事務費 3,000 円含) を大学を卒業するまで支援。

医・歯学生は年間 63,000 円 (事務費 3,000 円含) を 12 回に分けて支給。

【開始年度】 1997 年 11 月

【里子数】 (2017) 259 (2018) 263

【里親数】 (2017) 240 (2018) 245



ラオス

【対象】 ビエンチャン県ハーサイフオン市のセンスリー小学校の児童

【支援期間・金額】 1 年間 1 人 12,000 円で授業料一部負担

【開始年度】 2009 年 3 月

【里子数】 (2017) 12 (2018) 20

【里親数】 (2017) 12 (2018) 18

アフリカ



エスワティニ (旧スワジランド)

【対象】 孤児や貧困家庭の小学生から高校生まで

【支援期間・金額】 1 年間 15,000 円を最低 2 年間

【開始年度】 1997 年 1 月

【里子数】 (2017) 57 (2018) 57

【里親数】 (2017) 57 (2018) 57



エチオピア

【対象】 ワン・ホープ・ガーデン (小学校) に通っていた児童

【支援期間・金額】 毎月 3,000 円で 1 年間 36,000 円。12 年生まで支援。

【開始年度】 2003 年 2 月

【里子数】 (2017) 20 (2018) 20

【里親数】 (2017) 20 (2018) 20

アジア ネパール

職業訓練校「クリエイティブ・トレーニング・センター」

概要：女性の識字率・就学率ともに低く、女性に対する教育の重要性が社会的に認知されていないため、女性の教育は必要ないという考えが強い。女性のエンパワーメントと生活向上のため、15～30歳の女性を対象に2005年1月に開校。カトマンズ、テチョ村、バラトプルへと、地域のニーズに合わせて場所を移動させながら、洋裁教室を実施。

現在は刺繍コースと洋裁コースを実施。

刺繍コースは年3回、3ヶ月で週6日4時間学ぶ。

洋裁コースは年1回、6ヶ月で週6日4時間学ぶ。

両コースとも WFWP 会員が講師を務める。卒業時には家庭道徳教育を実施。



洋裁の授業

他の教室に比べて、受講料が安いことが特徴。自宅で家事労働に従事するしかなかった多くの女性たちに、自立のチャンスを与える場となっている。

進展状況

【2017】

- 生徒数は42人。初級・上級コースに各3ヶ月で分けていた洋裁コースは最終的に6ヶ月の洋裁コースとなった。
- 同じバラトプル内の広い教室へ引っ越しした。
- 22人が卒業し、5人が収入を得られるようになった。

【2018】

- バラトプルで洋裁コースを1回、刺繍コースを2回実施。生徒数は9人。
- 6月、教室をニーズのあるチトワン郡コレシモル市へ移動。洋裁コースは3ヶ月の初級コースを2回実施。生徒数は10人。刺繍コースの講師が見つからず、実施できなかった。
- 2つの教室から19人が卒業し、3人が収入を得られるようになった。

卒業生の声

サムジャナ・シュレスタさん

「看護師の資格持っていますが、就職をすることができず、家で家事をするしかなく、悶々とする日々を送っていました。クリエイティブ・トレーニング・センターの事を近所の人から知り、刺繍や洋裁に興味があったのですぐに受講しました。銀行員の夫は時間のある時、糸にビーズを通してくれたりして、手伝ってくれるようになり、お陰で夫婦の楽しい会話も増えました。妻が楽しんでやっている姿を見て、夫は『これ続けてライフワークにしたい。』と励ましてくれています。私に新しい生きがいと希望を与えてくれたクリエイティブ・トレーニング・センターに心から感謝しています。」



アジア ミャンマー

職業訓練校「さくら専門学校」

概要：女性の経済自立を促進するために、最大都市ヤンゴン市内で2008年2月7日に開校。編物コースと洋裁コースがあり、いずれのコースも週2回、1回3時間。

編物は3ヶ月学ぶ。ビーズでバッグ、ネックレス、ぬいぐるみ、キーホルダーなど生徒が作製したいものを教える。

洋裁は初級コース・中級コースがあり、それぞれ3ヶ月学ぶ。初級コース3ヶ月でエンジー（伝統的シャツ）やロンジー（伝統的スカート）を7種類、中級コースでスカートを3種類、エンジーを5種類、ガウンを2種類作製。

いずれのコースも WFWP 会員が講師となっており、生徒からの信頼も厚く、技術的なこと以外にも、生徒のよき相談相手となっている。

進展状況

【2017】

- いずれのコースも平日に実施していたが、生徒が通いやすいよう、土日に実施するようになった。
- 洋裁コースでは服にビーズやスパンコールを付けたり、刺繍を施したり、手作りブローチを作ったりするので、人気がある。学んでいくうちに、デザイナーになりたい、お店を持ちたい、洋裁の先生になりたいと、生徒たちの夢も膨らんでいる。編物講師も手が空いたときは洋裁を教えている。
- 里子たちへ支援する制服も少しずつ作製し、その縫い賃が生徒たちの収入につながっている。
- 編物コースは編物3ヶ月、ビーズ3ヶ月を6ヶ月教えていたが、編物のニーズがあまりないので、バッグ、ネックレス、ぬいぐるみ、キーホルダーなど、生徒たちから要望のあるものを3ヶ月で教えるようになった。
- NGO「ジェンダー・グループ」のメンバーで、2016年に編み物コースで小物作りを学んだ卒業生6人が、「パンタジン」というビーズ小物を作製・販売するグループを作った。性的虐待を受けた女性たちに寄付収益の10%を寄付し、彼女たちに小物作りを教えるようになった。



洋裁の授業

【2018】

- 開校から10年周年を迎え、順調に運営されている。

生徒数	編物	洋裁	合計
2017	17	24	41
2018	12	25	37



目標 6

すべての人々の水と衛生の利用可能性と
持続可能な管理を確保する

ターゲット 6.1 2030 年までに、すべての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ平等なアクセスを達成する。

ターゲット 6.2 2030 年までに、すべての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性及び女子、ならびに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を向ける。

衛生指導



手洗い指導



きれいになったトイレ



RSP 幼稚園での歯磨き指導

アジア ミャンマー

学校保健衛生・環境プロジェクト

概要：1998 年、保健省とタイアップして、小学校の公衆トイレ、給水タンク、手洗い場の建設開始。手洗いや歯磨きなどの衛生指導も実施。

進展状況

【2017】

- 8 月、テスー小学校の生徒にハンカチをプレゼントし、青年たちと寸劇やペープサート（平面紙人形）を使って手洗い指導を実施。
- 11 月、テスー小学校の約 70 人の児童にハンカチを配布し、里親と寸劇やペープサートを使い、手洗い指導を実施。爪のチェック、ばい菌の話をし、衛生について楽しく学ぶことができた。

【2018】

- 6 月、ニャンドン地区小学校分校「ティンゴン小学校」でトイレを建設。
- 8 月、テスー小学校のトイレを修繕し、手洗い場を水槽式から蛇口式に改築。
- 11 月、手洗い指導をテスー小学校 66 人の児童を対象に実施。

オセアニア ミクロネシア

保健衛生指導プロジェクト

概要：歯科衛生に力を入れているポンペイ州の小学校の保護者から歯ブラシの要望があり、2008 年よりネット、ウー、ソーケスの 3 地区、2016 年よりキティ地区も入り、4 地区の小学校へ歯ブラシ配布と水だけで行う歯みがき指導を実施している。

進展状況

【2017】

- ソーケス RSP 幼稚園、アワック小学校、ラワティック小学校にて 107 人の児童に歯磨き指導を実施。また、ぬり絵、工作指導も行った。
- 日本の歯ブラシメーカーの協力により 11,200 本の歯ブラシの支援を行なった。

【2018】

- ソーケス RSP 幼稚園、アワック小学校、ラワティック小学校、サラボック小学校、オーミネ小学校にて 205 人の児童に歯磨き指導を実施。虫歯予防と歯磨き指導の紙芝居を使用した。
- 日本の歯ブラシメーカーの協力により 11,200 本の歯ブラシの支援を行なった。

安全な水の利用確保



アフリカ ニジェール

井戸修復プロジェクト

概要：僻地の村の井戸は屋根もなく、野ざらしであり、古い井戸は廻りの壁にカビや苔が生えて非常に不衛生な状態である。さらに大きな井戸では井戸水を汲み

上げる際に、井戸の縁に立って桶の皮袋を吊り下げるので、子どもが中に落ちる事故も起きている。井戸の危険で不衛生

な状態を改善して、村人に安全できれいな水を供給できるように、井戸をポンプ式に改修することにした。

進展状況

【2017】 マラディ州環境衛生局に依頼して、井戸改修予定地を選定していただき、11 月半ばから 12 月初旬にかけて、マラディ州 マダロンファ県セルキン・ヤンマ区ガリンブーゼ村で、村の井戸 1 基をポンプ式井戸に改修した（左写真）。

国際協力青年ボランティア

日本の青少年に「地球家族」を体験する機会を与えるため、1997年より、他のNGOとの共催で、開発途上国へボランティアチームを派遣している。2006年より、WFPの派遣国に派遣し、WFP海外派遣員と共に活動を体験することを通して、後継者を育成している。若者達はカルチャーショックを覚えながらも、現地の人々と共に汗を流し、語り合う生活を通して、日本では忘れていた大切なものを発見しているようだ。ボランティアとは何か、国際協力・国際貢献とは何かを体感しながら学ぶことができる貴重な機会となっている。(P33にペルー隊掲載)

ミャンマー隊

2017年1月4日～13日 青年5人参加

<活動内容>

- 盲学校を訪問し、日本の歌とリコーダーを披露。
- 孤児院「太陽の家」訪問。
 - ・子供達と一緒に建物のペンキ塗り。
 - ・昼食は日本のカレーライス。
 - ・子供達とゲームで交流。
- 日本の青年とミャンマーの青年との姉妹結縁式。
- WFPが校舎建設を支援したニヤンドン小学校訪問。
 - ・開校式に参加。村をあげて盛大に開催。
 - ・図書スペースが設置され、図書贈呈式を開催。
 - ・開校記念運動会を開催。
- 里子が通うテスー小学校訪問。
 - ・「さくら図書室」が設置され、図書贈呈式を開催。
 - ・子供達と日本の遊びとサッカーで交流。
 - ・里子の家庭訪問。
- 教育省職員と夕食会
- アンズイーヤーミン僧院で僧侶の講話を聴く。
- 日本人墓地参拝。
- 観光：シュエダゴンパゴダ、チャイティーヨー、バゴー観光。



開校式のプレゼント

姉妹結縁式



「さくら図書室」

孤児院でペンキ塗り

タイ隊

2018年1月5日～14日 青年7人参加

<活動内容>

- 里子が通うバンファイシン学校訪問。
 - ・WFPで建設した寄宿舍「はなの家」開所のための調印式・タンブン式を開催。
 - ・運動会開催。
 - ・花壇作り。
- カレン族の里子家庭訪問。
- チェンマイ観光：メーテン・エレファントパーク。
- 世界遺産アユタヤとバンコク市内観光。
- 日本の青年とタイの青年との姉妹結縁式。
- WFPタイとの交流会。



寄宿舍「はなの家」開所



堀会長と校長の間で調印式



姉妹結縁式

象のかわいいいたずら